

博士前期課程（修士） / 実践看護学領域 / 成人看護学分野

科目コード：240003

急性期病態治療学特論 Clinical Pathophysiology / Management of Critically ill Patients

担当教員	村井 嘉子				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords	急性期病態、生理学的変化、治療学、医学的介入、早期リハビリテーション				
学習目的・目標	急性疾患に生じる呼吸・循環・代謝・中枢神経の病態の変化を理解すると共に、集中治療室で管理されるような呼吸・循環・神経系の患者アセスメントができる知識を修得する。 目標： 1. 急性期の生理学的変化、呼吸・循環・水分・電解質を中心とする代謝病理学的な理解ができる。 2. 急性期病態患者のアセスメントができる。 3. 急性期の治療計画が理解できる。 4. 医学的介入による機能回復が理解でき、看護援助へ結びつけることができる。 5. 廃用症候群を予防し早期のADL向上と社会復帰をめざして、リスク管理のもとに早期から積極的リハビリテーションを行う。				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1	オリエンテーション、急性呼吸不全の病態生理			講義	村井
2	呼吸管理の実際①			講義	村井
3	呼吸管理の実際②			講義	村井
4	循環不全の病態生理①			講義	村井
5	循環不全の病態生理②			講義	村井
6	急性心不全の病態と治療			講義	村井
7	急性心筋梗塞・致死性不整脈の病態と治療			講義	村井
8	中枢神経感染症の病態と治療			講義	村井
9	脊髄疾患の病態と治療			講義	村井
10	運動ニューロン疾患の病態と治療			講義	村井
11	脳血管障害の病態と治療			講義	村井
12	頭部外傷の病態と治療			講義	村井
13	脳腫瘍の病態と治療			講義	村井
14	急性期リハビリテーション①			講義	村井
15	急性期リハビリテーション②			講義	村井
教科書	随時提示する				
参考図書等	随時提示する				
評価指標	出席によるディスカッション50%、最終レポート50%				
関連科目	成人看護学特論 急性期援助論 急性期看護学演習				
教員から学生へのメッセージ	知識の習得のみならず、実際の患者を診ていただき、適切な判断と対応ができることを目指します。				